

東京五輪招致による再生への期待

2020年夏季五輪の開催都市を決めるIOC総会で、東京が1964年以来56年ぶりに選ばれ、日本中が歓喜に沸きました。2度目の開催はアジア初です。4年前の招致活動時と比べ今回は、国内的な盛り上がりや関心が高く、国民が一体となってロビー活動やプレゼンテーションなどを行い「安全で確実な五輪」をアピールできたことが勝因と言われています。パラリンピック陸上選手佐藤真海さんはプレゼンの中で、骨肉腫による右足の切断、故郷の被災という困難を「スポーツの力」で乗り越えた自身の半生を、身ぶり手ぶりを交えて表情豊かに訴え、とても印象的でした。

前回の東京五輪は、戦後復興から経済成長へ大きく日本が飛躍する転換点となりました。その時の陸上競技日本代表総監督は、海田町出身で日本人初のオリンピック金メダリストの織田幹雄先生で、見事に男子マラソンの円谷幸吉選手を銅メダリストに導きました。円谷選手は元々トラック競技と駅伝の選手でしたが、織田先生がそのスピードに着目し、マラソンに転向するよう指導された結果、陸

上競技唯一のメダル受賞の栄に輝きました。

今回は、東日本大震災からの復興と日本経済再生の契機に大きくつながるものと期待されており、経済波及効果は、約3兆円と試算されています。経済界では、景気拡大とグローバル化の波に乗るチャンスと捉えており、建設や観光など幅広い分野において約15万人の雇用創出が見込まれています。

計画では、選手村から8キロメートル圏内に85%の競技場が配置され、コンパクトさが特長となっています。国立競技場は8万人収容の開閉式屋根を備えた全天候型の斬新なデザインに生まれ変わるほか、さまざまな分野において、先進的な取り組みを展開していくとしています。政府はスポーツ行政の一元化を図るためスポーツ庁の創設を検討しており、JOCでも、前回に並ぶ世界第3位の金メダル獲得数を念頭にハード・ソフト両面で選手強化を加速するとしています。

7年後、原発事故を克服し、震災から立ち直り、夢と希望の持てる元気な国に再生していることを切に願っています。

まちの話題

本場アフリカンミュージックを堪能 アフリカンエクスプレス

8月19日、町民センターで、横浜のインターナショナルバンド「アサンテプラン」による「アフリカンエクスプレス」の公演を開催し、202人が参加。来場した皆さんは、アフリカ各国のミュージシャンが結集した国際交流アフリカンバンドの演奏に酔いしれていました。



▲▶ラテン系やレゲエ系など、本場のアフリカンミュージックで心地よい時間を過ごしました。

日本語の魅力

文化講座～日本語力を鍛えよう～

8月28日、海田町出身で留学経験も豊富な渡部倫子さんによる文化講座を開催しました。日本語の面白さや自身の日本語力のチェックなど、外国語として日本語を考えてみることで、得ることができる新たな発見がありました。



▲日本語学の奥深さを語る渡部さん(右)

新しく多目的トイレを整備

役場庁舎改修事業

高齢者や体が不自由な方、子ども連れの人などに快適に利用してもらえよう、役場1階に多目的トイレを整備しました。



▶広いスペースに、オストメイト対応設備やおむつ交換台を設置しました。

町民サービス室 ☎823-9219  
☎823-7927

くらしの中の消費者トラブル

「なりすましているだけ！ サクラサイトに気をつけて！」

(県環境県民局消費生活課発行「くらしのフレッシュ便」平成25年7月号)より転載)

**■相談内容**  
ある日、芸能人のマネージャーという人からメールが届き、「無料ポイント1,500円分渡すので、担当のタレントについて悩みを聞いて欲しい」と書いてあった。無料ポイントがあるならと、サイトに登録して、メールのやりとりを始めた。無料ポイントはすぐに無くなり、その後のメールのやりとりで使ったサイト利用ポイント代金を払うように催促メールが届くようになった。払わないといけないだろうか。

**■アドバイス**  
相談者には出会い系サイトのサクラ(業者が雇う個人利用客のフリをする人)について説明し、料金を払わず、メールアドレスも変更しようとするようにアドバイスしました。サクラを使う出会い系サイト(サクラサイト)に関する相談が後を絶ちません。迷惑メールや知らない人からのメールに返信して、サイトに誘導され、多くのトラブルが生じています。スマートフォンに誘導されるケースもあります。送られてくる迷惑メールの中には、芸能人のマネージャーと名乗る人が「悩みを聞いて欲しい」と、同様に訴えて、メール交換を続けさせてサイト利用ポイントを使わせる手口もよく見られます。他にも「お金をあげる」「メル友になって欲しい」などのメールもありますが、知らない人から届くメールやメッセージには絶対に返信しないでください。もし、知らない人とメールのやり取りを始めてしまったときには、届いたメールやサイト内に残っているメールを保存したり、プリントアウトしておきましょう。また、お金を払うと取り戻すのは大変困難です。もし、支払ってしまったときには、支払いの記録を保存しておきましょう。代金の支払い方法によっては、返金交渉の役に立ちます。トラブルにあつたらすぐに相談してください。

**■相談窓口**  
海田町消費生活相談コーナー ☎823-9219  
受付 ◆木曜日9時30分～16時(12時～13時を除く)  
場所 ◆町民サービス室(役場2階)  
広島県生活センター ☎223-6111  
受付 ◆月～金曜日9時～16時(12時～13時を除く)  
場所 ◆広島市中区基町10-52(県庁農林庁舎1階)

報告 町長のぶらり訪問「食生活改善推進員(ヘルスマイト)」

先月9日、「食生活改善推進員(ヘルスマイト)」の皆さんを訪ねました。この日は、会長のほか7名が参加。懇談では、「食生活を改善するにはどうすればよいか」「もっと地域や学校に出向いてみては」など活発な意見交換が行われました。詳細は町ホームページに掲載しています。

◀語り合う食生活改善推進員(ヘルスマイト)の皆さんと町長



ヘルスマイトの皆さんとの懇談後、海田町シルバー人材センターが製造・販売している「海田おこし」や「海田名所煎餅」などの試食が行われ、ヘルスマイトならではの視点から原材料や包装などへの意見や感想をいただきました。また、試作段階の商品も試食され、無添加であることを前面にPRするなど、商品化に向けて具体的な意見が交わされました。

